

調査資料

本邦に於ける結核感染狀況竝に

之が結核死亡率との關係

良 田 圭 子

周知の如く結核豫防は人的資源獲得に重要な役目をなすものであつて、これには結核の感染を完全に防ぎ得れば問題はないのであるが只今の日本の現状に於ては不可能である。而して傳染源である患者を隔離し且つ消毒の勵行によつて可及的に感染の蔓延を防止すると共に他方に於ては感染者を發病させぬ様に力を盡し、又發病したものは速かに發見して早期に治療し、排菌者を作らぬ様にしなければならぬ。このために集團檢診竝に豫防接種の實施が各方面に於て勵行される様になつて來たことは喜ばしい限りである。

さて此の集團檢診にて感染者を知り、又非感染者に豫防接種を行ふ上に必要缺くべからざる指針となるものは「ツベルクリン」反應である。この

「ツ」反應の檢査成績は先進諸家によりて多數の報告があり殊に近年各方面にて非常に精密な調査が行はれてゐる。余は之等諸氏の近年數年間の報告を地方別年齢別に集計して各地方の狀態を觀察して見ることとしたのでその概略を述べ様と思ふ。

二

「ツベルクリン」反應の檢査法に就ては諸家によりて統一を缺き第一表に示すが如く「ツベルクリン」液の稀釋度に於ても一千倍液を使用する者二千倍液を使用する者、又五千倍液をよしとする者あり、又判定時間も二十四時間或は四十八時間等判定方法は發赤のみを以てし或ひは發赤並に硬結を以てするもの又發赤の大きさも五耗以上を陽性とし、或は六、七耗等あるも近年に至りては十耗以上を陽性とするものが最も多い。

第一表 ツ氏反應施行法

稀釋度	報告數	注射量	報告數	判定時間	報告數	判定標準	報告數
100倍	2	0.1cc	1	48時間	1	5mm	1
1000倍	18	0.1cc	18	24時間	6	5mm	5
				48時間	9	7mm	1
2000倍	49	0.1cc	49	24時間	5	5mm	5
				48時間	43	7mm	22
						8mm	2
5000倍	1	0.05-0.1cc	1	48時間	1	5mm	1
						7mm	2
						10mm	16

之等區々たる成績を一括集計することは甚だ不合理なるも蔓延状況の概略を知るよすがともならんかと思惟し「ツ」一千倍稀釋液接種後二四―四八時間、五耗以上の發赤竝に二千倍稀釋液接種後四八時間判定、發赤十耗以上を陽性とせるものを選びて、之れを地方別、年齢別、性別に分類した。

三

既に昭和八年向後氏は發表濟みの二〇報告を綜合して一歳より十五歳迄の總検査人員、二六、三五五名の陽性率は三五・二%なるを報告し、之れを人口十萬以上の大都市と郡部とに大別し第二表に示す如き成績を報告してゐる。即ち、大都市は郡部に比し陽性率が高い。

第二表 向後氏による學童ツベルクリン全國集計

年 齡	全 國		都市(人口十萬以上)		町村(人口十萬以下)	
	検査人員	陽性率	検査人員	陽性率	検査人員	陽性率
七歳	四、〇六一	二六・六	二、六六五	三三・一	一、三九六	二〇・一
八	三、三二五	三三・七	二、四〇六	三六・〇	九一九	二四・〇
九	三、三五一	三七・〇	二、五四一	四一・七	一、〇一〇	二二・五
一〇	三、四八六	三七・五	二、四一七	四三・四	一、〇六九	二四・一
一一	三、〇八二	四一・三	二、一七一	四八・三	九一一	二四・六
一二	二、二九三	四六・四	一、三八五	五六・九	九〇八	三〇・四
一三	一、九五八	四五・七	一、二七五	五三・六	六七九	三〇・六
一四	一、〇四九	四六・四	六七二	五七・三	四二二	三〇・三
一五	三、四八	四一・四	一、二三三	四九・六	二二五	三六・九
合 計	二六、三五五	三五・一	一八、八一六	三九・一	七、五三九	二五・一

本邦に於ける結核感染状況竝に之が結核死亡率との關係

第三表 田中氏による學童「ツ」反應全國集計

年 齡	被検査人員		陽性者		陽性率	
	男	女	男	女	男	女
七歳	一、九七七	一、八八六	五三三	五三二	二七・四七	二八・三二
八	一、八六八	一、九三〇	五二八	五九一	二八・二七	三〇・六二
九	一、七四五	一、八二三	五八六	六〇六	三三・五八	三三・二四
一〇	一、八一〇	一、七九七	六〇九	六四二	三三・〇九	三三・七三
一一	一、八三七	一、八二六	七二九	七二八	三九・七四	三九・八七
一二	一、九二五	一、八七九	八一四	八〇五	四二・二九	四二・八四
一三	一、三七六	一、二六〇	七〇二	五九四	五一・〇二	四七・二四
一四	八〇六	四五五	四一五	二四〇	五一・四九	五二・七五
計	男一三、三四四 女一二、六五六	男一三、三四四 女一二、六五六	男四、九一六 女四、七三六	男四、九一六 女四、七三六	男三六・八四 女三六・八五	男三六・八四 女三六・八五

同じく昭和十二年田中氏は第三表に於ける如く總検査人員二六、二〇〇名の學童の「ツ」氏反應成績を集計して、年齢の増加と共にその陽性率増加し、市部に於ては三〇・七%より、六九・三四%平均四一・三四%、郡部に於ては一四・四八より三五・六四%、平均二一・二三%なりと報告し、之れを男女別に見る時は全國的集計にては略々同率にして都市と郡部とに分つ時は男兒に於て稍々高率を示すと云ふ。

余の集め得た文獻を綜合集計して年齢別に觀察する時は次の様な成績である。

一、學齡前期

年 齡	0-1	1-2	2-3	3-4	4-5	5-6	計
被檢人員	4,679	2,751	1,676	1,530	1,633	2,437	14,706
陽性者數	179	296	304	315	379	643	2,126
陽性率	3.83	10.76	18.14	20.59	23.21	26.38	14.39

即ち學齡前の小兒の陽性率高きは被檢人員中東京及び大阪在住の者多き故ならんと思惟し、東京の被檢者並に大阪の五-六歳の園兒を除いて觀察する時は次の様な成績を示してゐる。

年 齡	0-1	1-2	2-3	3-4	4-5	5-6	計
被檢人員	3,365	1,415	686	820	799	1,140	8,335
陽性者數	85	86	83	133	135	175	674
陽性率	2.53	6.08	12.10	14.88	15.39	15.35	8.19

二、學 齡 期

學齡期即ち滿六歳より十四歳迄の學童の陽性率は次の様であつて年齢と共にその陽性率の上昇する事は勿論である。之れを、市、町、村部に三大別

年 齡	6-7	7-8	8-9	9-10	10-11	11-12	12-13	13-14	計
被檢人員	10,319	10,377	10,948	10,483	13,446	14,398	14,000	3,673	78,787
陽性者數	1,497	1,933	2,177	2,190	3,748	5,060	1,770	1,741	19,116
陽性率	14.41	18.68	19.83	21.00	27.72	37.52	12.57	47.42	24.13

し更に男女別に觀察する時は第四表の如くである。村部に於ける六-七歳の者は略、六%を示し一三-一四歳にて二二・九八%平均一%である。町部に於ては九%より順次二八%に上昇、平均一五%市部に於ては六-七歳にて既に二〇・五二%一三-一四歳の男兒に於ては四六・八七%、女兒にては四二・七七%、平均三〇%の陽性率を示した。

第四表 學童、市町村別、男女別、陽性率

年 齡	男			女		
	被檢者數	陽性者數	%	被檢者數	陽性者數	%
6-7	13,864	855	6.17	13,024	1,371	10.53
7-8	15,830	1,268	8.01	13,025	1,579	12.12
8-9	15,553	1,401	9.01	15,032	1,465	9.75
9-10	15,506	1,640	10.58	15,050	1,578	10.48
10-11	16,006	1,991	12.44	15,058	1,953	12.97
11-12	16,006	2,335	14.59	15,057	2,155	14.31
12-13	15,979	1,005	6.30	14,555	880	6.05
13-14	4,950	1,008	20.36	3,611	689	19.08
計	106,765	11,777	11.03	99,553	10,953	11.00
6-7	8,141	746	9.16	8,187	881	10.76
7-8	9,110	1,125	12.35	9,418	1,181	12.54
8-9	9,137	1,133	12.40	9,150	1,188	12.99
9-10	8,933	1,177	13.18	8,623	1,136	13.18
10-11	9,091	1,555	17.10	9,055	1,682	18.59
11-12	8,719	1,188	13.63	8,398	1,166	13.90
12-13	2,330	633	27.17	2,681	533	19.88
13-14	1,877	577	30.75	1,427	391	27.40
計	57,508	8,980	15.62	56,561	8,985	15.89
6-7	2,625	537	20.46	2,589	541	20.90
7-8	2,619	621	23.71	2,613	575	22.00
8-9	2,600	650	25.00	2,608	643	24.65
9-10	2,687	640	23.82	2,710	640	23.62
10-11	3,307	1,168	35.32	3,361	1,049	31.21
11-12	3,933	1,268	32.24	3,949	1,100	27.85
12-13	2,953	995	33.70	2,898	1,036	35.78
13-14	1,673	700	41.84	1,677	707	42.16
計	19,510	6,559	33.62	18,564	6,581	35.45

合		計	
六一七	四八三〇	六一七	四八三〇
七一八	五、二九一	七一八	五、二九一
八一九	五、〇七九	八一九	五、〇七九
九一〇	四、九三三	九一〇	四、九三三
一〇一一	四、八五四	一〇一一	四、八五四
一一一三	四、六九七	一一一三	四、六九七
一二一三	四、五七一	一二一三	四、五七一
一三一三	三、四五一	一三一三	三、四五一
二三一四	一、六九七	二三一四	一、六九七
合計	三、四八二	合計	三、四八二

之等學童の検査成績を府縣別に見る時は(第五表)六一七歳に於ては大阪の三九・一五%最も高率にして兵庫の二七・八三%、奈良の二七・六六%之に次ぎ、次いで京都二三・四八%、東京の二〇・五二%である。低率を示すは長野縣農村の三・五一、島根縣農村の五・一六、同じく福島縣農村の六・五、岩手縣の六・八%である。

第五表 學童の府縣別年齢別陽性率

一 北海道	六一七	七一八	八一九	九一〇	一〇一一	一一一三	一二一三	一三一四	六、一七	七、一八	八、一九	九、二〇	一〇、二一	一一、二二	一二、二三	一三、二四	一四、二五	一五、二六	一六、二七	一七、二八	一八、二九	一九、三〇	二〇、三一	二一、三二	二二、三三	二三、三四	二四、三五	二五、三六	二六、三七	二七、三八	二八、三九	二九、四〇	三〇、四一	三一、四二	三二、四三	三三、四四	三四、四五	三五、四六	三六、四七	三七、四八	三八、四九	三九、五〇	四〇、五一	四一、五二	四二、五三	四三、五四	四四、五五	四五、五六	四六、五七	四七、五八	四八、五九	四九、六〇	五〇、六一	五一、六二	五二、六三	五三、六四	五四、六五	五五、六六	五六、六七	五七、六八	五八、六九	五九、七〇	六〇、七一	六一、七二	六二、七三	六三、七四	六四、七五	六五、七六	六六、七七	六七、七八	六八、七九	六九、八〇	七〇、八一	七一、八二	七二、八三	七三、八四	七四、八五	七五、八六	七六、八七	七七、八八	七八、八九	七九、九〇	八〇、九一	八一、九二	八二、九三	八三、九四	八四、九五	八五、九六	八六、九七	八七、九八	八八、九九	八九、一〇〇	九〇、一〇一	九一、一〇二	九二、一〇三	九三、一〇四	九四、一〇五	九五、一〇六	九六、一〇七	九七、一〇八	九八、一〇九	九九、一〇	一〇〇、一一	一〇一、一二	一〇二、一三	一〇三、一四	一〇四、一五	一〇五、一六	一〇六、一七	一〇七、一八	一〇八、一九	一〇九、二〇	一一〇、二一	一一一、二二	一一二、二三	一一三、二四	一一四、二五	一一五、二六	一一六、二七	一一七、二八	一一八、二九	一一九、三〇	一二〇、三一	一二一、三二	一二二、三三	一二三、三四	一二四、三五	一二五、三六	一二六、三七	一二七、三八	一二八、三九	一二九、四〇	一三〇、四一	一三一、四二	一三二、四三	一三三、四四	一三四、四五	一三五、四六	一三六、四七	一三七、四八	一三八、四九	一三九、五〇	一四〇、五一	一四一、五二	一四二、五三	一四三、五四	一四四、五五	一四五、五六	一四六、五七	一四七、五八	一四八、五九	一四九、六〇	一五〇、六一	一五一、六二	一五二、六三	一五三、六四	一五四、六五	一五五、六六	一五六、六七	一五七、六八	一五八、六九	一五九、七〇	一六〇、七一	一六一、七二	一六二、七三	一六三、七四	一六四、七五	一六五、七六	一六六、七七	一六七、七八	一六八、七九	一六九、八〇	一七〇、八一	一七一、八二	一七二、八三	一七三、八四	一七四、八五	一七五、八六	一七六、八七	一七七、八八	一七八、八九	一七九、九〇	一八〇、九一	一八一、九二	一八二、九三	一八三、九四	一八四、九五	一八五、九六	一八六、九七	一八七、九八	一八八、九九	一八九、一〇〇	一九〇、一〇一	一九一、一〇二	一九二、一〇三	一九三、一〇四	一九四、一〇五	一九五、一〇六	一九六、一〇七	一九七、一〇八	一九八、一〇九	一九九、一〇	二〇〇、一一	二〇一、一二	二〇二、一三	二〇三、一四	二〇四、一五	二〇五、一六	二〇六、一七	二〇七、一八	二〇八、一九	二〇九、二〇	二一〇、二一	二一一、二二	二一二、二三	二一三、二四	二一四、二五	二一五、二六	二一六、二七	二一七、二八	二一八、二九	二一九、三〇	二二〇、三一	二二一、三二	二二二、三三	二二三、三四	二二四、三五	二二五、三六	二二六、三七	二二七、三八	二二八、三九	二二九、四〇	二三〇、四一	二三一、四二	二三二、四三	二三三、四四	二三四、四五	二三五、四六	二三六、四七	二三七、四八	二三八、四九	二三九、五〇	二四〇、五一	二四一、五二	二四二、五三	二四三、五四	二四四、五五	二四五、五六	二四六、五七	二四七、五八	二四八、五九	二四九、六〇	二五〇、六一	二五一、六二	二五二、六三	二五三、六四	二五四、六五	二五五、六六	二五六、六七	二五七、六八	二五八、六九	二五九、七〇	二六〇、七一	二六一、七二	二六二、七三	二六三、七四	二六四、七五	二六五、七六	二六六、七七	二六七、七八	二六八、七九	二六九、八〇	二七〇、八一	二七一、八二	二七二、八三	二七三、八四	二七四、八五	二七五、八六	二七六、八七	二七七、八八	二七八、八九	二七九、九〇	二八〇、九一	二八一、九二	二八二、九三	二八三、九四	二八四、九五	二八五、九六	二八六、九七	二八七、九八	二八八、九九	二八九、一〇〇	二九〇、一〇一	二九一、一〇二	二九二、一〇三	二九三、一〇四	二九四、一〇五	二九五、一〇六	二九六、一〇七	二九七、一〇八	二九八、一〇九	二九九、一〇	三〇〇、一一	三〇一、一二	三〇二、一三	三〇三、一四	三〇四、一五	三〇五、一六	三〇六、一七	三〇七、一八	三〇八、一九	三〇九、二〇	三一〇、二一	三一〇、二二	三一〇、二三	三一〇、二四	三一〇、二五	三一〇、二六	三一〇、二七	三一〇、二八	三一〇、二九	三一〇、三〇	三一〇、三一	三一〇、三二	三一〇、三三	三一〇、三四	三一〇、三五	三一〇、三六	三一〇、三七	三一〇、三八	三一〇、三九	三一〇、四〇	三一〇、四一	三一〇、四二	三一〇、四三	三一〇、四四	三一〇、四五	三一〇、四六	三一〇、四七	三一〇、四八	三一〇、四九	三一〇、五〇	三一〇、五一	三一〇、五二	三一〇、五三	三一〇、五四	三一〇、五五	三一〇、五六	三一〇、五七	三一〇、五八	三一〇、五九	三一〇、六〇	三一〇、六一	三一〇、六二	三一〇、六三	三一〇、六四	三一〇、六五	三一〇、六六	三一〇、六七	三一〇、六八	三一〇、六九	三一〇、七〇	三一〇、七一	三一〇、七二	三一〇、七三	三一〇、七四	三一〇、七五	三一〇、七六	三一〇、七七	三一〇、七八	三一〇、七九	三一〇、八〇	三一〇、八一	三一〇、八二	三一〇、八三	三一〇、八四	三一〇、八五	三一〇、八六	三一〇、八七	三一〇、八八	三一〇、八九	三一〇、九〇	三一〇、九一	三一〇、九二	三一〇、九三	三一〇、九四	三一〇、九五	三一〇、九六	三一〇、九七	三一〇、九八	三一〇、九九	三一〇、一〇〇
-------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

四 佐賀	—	—	—	—	—	—	—
四 長崎	10.1	11.3	11.4	11.2	11.5	11.4	11.4
四 熊本	—	—	—	—	—	—	—
四 大分	—	—	—	—	—	—	—
四 宮崎	—	—	—	—	—	—	—
四 鹿兒島	13.5	16.0	16.8	19.3	20.0	20.7	21.7
四 沖縄	—	—	—	—	—	—	—
平均	14.4	16.6	17.3	18.0	18.7	19.5	20.5

年齢の増加と共に順次陽性率は上昇して、一三—一四歳に於て大阪は五九・二八、兵庫は四九・六四、東京は四四・六九%を示し、最低は長野の八・八二、福島の一・二二%である。

三、十四歳以上二十歳迄

十四歳以上二十歳迄の「ツ」反應陽性率は平均五一・七三%にして之れを男女別に見る時は次表の如く男子に於て高率である。

第六表 十四歳以上二十歳の陽性率

	男	女	合計
被検者陽性者比率	被検者陽性者比率	被検者陽性者比率	被検者陽性者比率
一四—一五歳	八・一九	三・九三	四・五九
	二七・九	二七・六	二七・八
	三九・〇	三九・〇	三九・〇
	四九・九	四九・九	四九・九
	五九・〇	五九・〇	五九・〇
	六八・四	六八・四	六八・四
	七六・六	七六・六	七六・六
	八二・八	八二・八	八二・八
	八八・九	八八・九	八八・九
	九三・〇	九三・〇	九三・〇
	九七・七	九七・七	九七・七
	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

第七表、市郡別五歳階級別陽性率

市	部			村	部			計				
	被検者陽性者比	平均誤差	被検者陽性者比		平均誤差	被検者陽性者比	平均誤差					
〇歳	八・二七	七・〇二	八・五四	±0.97	五・六五	二・三七	四・一九	±0.26	一三・八六	九・三九	六・七七	±0.11
一—四歳	二四・二六	六・四三八	二六・五九	±0.89	一三・三四	一・四七	一・〇四	±0.27	三七・五六	七・九一	二・〇六	±0.10
五—九歳	一五・三八七	五・七四〇	一七・三〇	±0.88	一六・五〇	三・一九	一九・三八	±0.97	三一・八八	八・九三	二・〇四	±0.15
一〇—一四歳	一六・六五〇	一〇・七五九	一八・五八	±0.86	一五・四〇	二・七七	二二・七五	±0.68	二二・〇五	一一・五九	五・五八	±0.35

四、五歳階級別

都市並に郡部住民の五歳階級「ツ」反應陽性率を見る時は、市部に於ては、東京、石川、愛知、大阪、福岡の各市内住民は第七表に示す如く〇—四歳に於ては八、五四%にして順次年齢の増加と共に陽性率上昇し五〇—六〇歳以上に於ては七七・〇二%を示して居る。

村部に於ては北海道、岩手、宮城、埼玉、石川、奈良及び鹿兒島を總計して第七表の如く年齢の増加と共に陽性率も増し、村部に於ては勿論都市に於けるよりも陽性率低し。

之れを男女別に見る時は市部に於ては記載なきもの多く、郡部に於ては第八表の如く男子の陽性率は女子に比し年齢の増加と共にその上昇率が高い、之れ即ち社會との接觸の大なるためであらうか。

第八表 郡部男女別五歳階級陽性率

計	陽性者	陽性率	被檢者	陽性者	陽性率
二〇—二四	1,082	8.384	±0.4017	1,350	9.14
二五—二九	1,073	9.244	±0.3334	1,062	38.69
三〇—三四	3,387	2,885	±0.61049	4,752	±1.005
三五—三九	2,571	2,233	±0.6664	4,879	±1.062
四〇—四四	2,287	1,988	±0.705	1,028	47.52
四五—四九	1,541	1,312	±0.90609	4,879	±1.062
五〇—五四	1,333	1,019	±1.1566	1,099	53.14
五五—五九	1,333	77,022	±1.1566	761	54.35
六〇—六四	1,333	77,022	±1.1566	690	54.59
六五—六九	1,333	77,022	±1.1566	416	60.38
七〇—	1,333	77,022	±1.1566	282	57.39
計	97,218	50,704	±0.5068	56,724	14,267

五、地方別觀察

以上全國集計を地方別に觀察しよう
一、北海道

北海道に於ては左記の如く多數の報告ありて道内各地各年齢及郡部別の觀察行はれ年齢性別に見る時は第九表の如く女子に於て幾分低きも略、同率の陽性率を示し年齢増加と共に上昇するは勿論である。村部の陽性率は都市に比し低きも他の地方に比し其の上昇率は高度である。

第九表A 北海道市部年齢別男女別陽性率

年齢	男		女		計
	被檢者	陽性率	被檢者	陽性率	
七〇—	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
六〇—六四	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
五〇—五四	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
四〇—四四	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
三五—三九	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
二五—二九	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
一五—一九	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574
〇—四	1,287	4,656	1,287	4,656	2,574

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

七十八	100	34000	153	43	2754	252	76	3016
八一九	98	33343	140	46	3194	243	88	3632
九一〇	107	30368	123	50	3068	249	76	3553
一〇一一	122	28261	115	71	3678	336	29	3533
一一一二	137	25700	107	96	3033	36849	31185	3957
一二一三	152	23243	100	121	2803	4011	7371	3590
一三一四	167	20786	93	146	2454	4385	1055	3319
一四一五	182	18329	86	171	2105	4750	1284	3090
一五一六	197	15872	79	196	1756	5115	1628	2889
一六一七	212	13415	72	221	1407	5480	2002	2690
一七一八	227	10958	65	246	1058	5845	2376	2499
一八一九	242	8501	58	271	709	6210	2751	2109
一九一〇	257	6044	51	296	360	6575	3116	1619
二〇一一	272	3587	44	321	111	6940	3481	930
二一一二	287	1130	37	346	22	7275	3846	509
二二一三	302	273	30	371	13	7610	4211	150
二三一四	317	126	23	396	4	7945	4576	51
二四一五	332	30	16	421	0	8280	4941	2
二五一二六	347	14	9	446	0	8615	5306	0
計	362	3302	413	518	3576	10133	25260	3678

第九表B 北海道村部年齢別男女別陽性率

年齢	男		女		計
	被檢者陽性者陽性率	被檢者陽性者陽性率	被檢者陽性者陽性率	被檢者陽性者陽性率	
六—七	45	219	45	208	45
七—八	50	225	51	207	50
八—九	45	267	45	207	45
九—一〇	49	256	50	203	49
一〇—一一	74	225	72	198	74

第九表C 北海道村部5歳階級別陽性率

年齢	男		女		計
	被檢者陽性者陽性率	被檢者陽性者陽性率	被檢者陽性者陽性率	被檢者陽性者陽性率	
六—一〇	30	291	35	245	30
一一—一五	35	322	34	299	35
一六—二〇	42	433	41	355	42
二一—二五	48	566	47	483	48
二六—三〇	54	709	53	617	54
三一—三五	60	842	59	756	60
三六—四〇	66	975	65	870	66
四一—四五	72	1108	71	984	72
四六—五〇	78	1241	77	1100	78

昭一五	有馬英二	昭一四	道廳衛生課	昭一三	有馬英二	昭一二	清水	昭一三	岡田道磨	昭一五	清水	昭一四	清水	昭一五	清水	昭一四	伊藤晃彦	昭一五	清水	昭一四	有馬英二	昭一三	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一五	有馬英二
昭一五	有馬英二	昭一四	道廳衛生課	昭一三	有馬英二	昭一二	清水	昭一三	岡田道磨	昭一五	清水	昭一四	清水	昭一五	清水	昭一四	伊藤晃彦	昭一五	清水	昭一四	有馬英二	昭一三	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一五	有馬英二
昭一五	有馬英二	昭一四	道廳衛生課	昭一三	有馬英二	昭一二	清水	昭一三	岡田道磨	昭一五	清水	昭一四	清水	昭一五	清水	昭一四	伊藤晃彦	昭一五	清水	昭一四	有馬英二	昭一三	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一五	有馬英二
昭一五	有馬英二	昭一四	道廳衛生課	昭一三	有馬英二	昭一二	清水	昭一三	岡田道磨	昭一五	清水	昭一四	清水	昭一五	清水	昭一四	伊藤晃彦	昭一五	清水	昭一四	有馬英二	昭一三	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一五	有馬英二
昭一五	有馬英二	昭一四	道廳衛生課	昭一三	有馬英二	昭一二	清水	昭一三	岡田道磨	昭一五	清水	昭一四	清水	昭一五	清水	昭一四	伊藤晃彦	昭一五	清水	昭一四	有馬英二	昭一三	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一五	有馬英二

本邦に於ける結核感染狀況並に之が結核死亡率との關係

昭一六	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一六	石井主器夫	昭一六	青森
昭一六	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一六	石井主器夫	昭一六	青森
昭一六	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一六	石井主器夫	昭一六	青森
昭一六	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一六	石井主器夫	昭一六	青森
昭一六	有馬英二	昭一四	有馬英二	昭一六	石井主器夫	昭一六	青森

麥倉、松野兩氏による津輕郡學童の「ツ」反應の陽性率は、一六・七二%となつてゐる。

昭五	高橋 實	昭五	高橋 實	昭五	高橋 實
昭五	高橋 實	昭五	高橋 實	昭五	高橋 實
昭五	高橋 實	昭五	高橋 實	昭五	高橋 實
昭五	高橋 實	昭五	高橋 實	昭五	高橋 實
昭五	高橋 實	昭五	高橋 實	昭五	高橋 實

中村	隆	中村	隆	中村	隆
中村	隆	中村	隆	中村	隆
中村	隆	中村	隆	中村	隆
中村	隆	中村	隆	中村	隆
中村	隆	中村	隆	中村	隆

第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率
第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率
第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率
第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率
第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率	第十表	岩手縣村部學童並ニ村民ノ陽性率

年 齡	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率
年 齡	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率
年 齡	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率
年 齡	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率
年 齡	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率	被檢者	陽性者	比率

第十一表B 宮城縣村部學童陽性率

年 齡	↑		↓		計	
	被檢者	陽性者	被檢者	陽性者	被檢者	陽性者
六—七	七一	一	七四	二	一四五	三
五—六	—	—	—	—	—	—
四—五	—	—	—	—	—	—
三—四	—	—	—	—	—	—
二—三	—	—	—	—	—	—
一—二	—	—	—	—	—	—
〇—一	—	—	—	—	—	—
計	四三八	一五八〇	三五九七	七五五	三二八二	二二三五

第十一表C 宮城縣村民ノ陽性率

年 齡	↑		↓		計	
	人員	%	人員	%	人員	%
六—一〇	一〇四三	七三	一〇四九	八七	二〇九二	七六〇
一一—一五	九八〇	七六	一七九六	九四	二七七六	一〇九二
一六—二〇	五五五	二八	三三四六	一五	三九〇一	三六〇
二一—二五	九九五	七	五九四九	一四	六九〇四	二九三
二六—三〇	三三三	二	五九四九	一〇	六二八二	一八二
三一—三五	三三五	二	四九九四	三	五五二九	一五五
三六—四〇	二四四	一	五七九六	一	六〇四〇	一〇七
四一—四五	二四四	一	六〇〇〇	一	六四四四	一〇七
四六—五〇	一八五	一	四四三三	一	四六一八	八〇
計	七八九	五	七六九	七	一五五八	一三

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

五一—五五	三三	一六四	七〇〇	二四一	二二〇	四九七	四七三	二六四	六〇七
五六—六〇	一八八	二二三	六四八	二四六	二二三	四九六	四七三	二四四	五〇三
六一—六五	一七五	二二七	七六五	二八一	九	五〇二	三五四	二〇八	五七六
六六—七〇	九四	六	六八八	八〇	四六	五七五	一七四	一〇七	六四九
七一—	六三	三〇	四七三	六七	二七	四〇三	二〇	五七	四八五
計	五四二	一、五八一	二、九三三	五、九〇三	一、四八四	二、五二四	二、三三三	三、〇六五	一、七〇九

五、山形縣

山形地方學童四、〇〇〇名に就て宇留野氏は昭和十三年山形市内二校市外三校を調査して男女別に之を觀察し、男兒に高く女兒に低しと云ふ。都鄙別に見れば市部に於て一二・四七—二七・〇、村部に於て〇—一六・六七%の陽性率である。

六、福島縣

宮下小學校に於ける萩原、阪井氏等の検査成績は五九七名中一一・七%の陽性を示してゐる。

七、栃木縣

伊藤、栗原兩氏は

日光 町	初等科	三三〇・二%	高等科	三二七・二%
鹽原 町	初等科	二六・九%	高等科	一一三・四%
足利 市	初等科	一六・八%		
農村六校		七・一%	高等科	一一一・〇%
宇都宮(石川氏による)			高等科	二二〇・九%

又宇都宮專賣局煙草工場にて一七—三〇歳以上の男女三三三三名中三〇五名九一・五%の陽性を報告してゐる。

八、群馬縣

縣内學童二九、八四九名に就て衛生課に於て検査の結果一六・四四%の陽

性率を發表し男女は略、同率である。後藤氏は某機械工場に於て男子八五七名(一二—六〇歳迄)の検査を行ひ四四%に於て陽性、女子は三九三名中三一%の陽性者を報告して居る。

九、埼玉縣

埼玉縣富岡村に於ける野邊地氏等の昭和十四、十五兩年に互る村民「ツ」反應調査成績並に本研究所に於て余等の行ひたる東吾野村全村民の検査成績とを總括する時は第十二表に示す如くにしてその陽性率は極めて低い。東吾野村學童の昭和十六、十七兩年に行ひたる成績は陽性率低く平均五四九%である。

第十二表 埼玉縣農村々民並ニ學童ノ陽性率

年 齡	男		女		計	
	被檢者	陽性率	被檢者	陽性率	被檢者	陽性率
〇—四歳	六〇	八・〇三	五七	〇・五三	一一七	〇・九二
五—九	六四	三・三六	六〇	二・四	一二四	二・六六
一〇—一四	六九	三・四七	六七	三・六	一三六	三・五三
一五—一九	五〇	一〇・四	四四	三・二	九四	一〇・九七
二〇—二四	一八	一六・六	一六	一六・五	三四	一七・八二
二五—二九	二二	二九・七	二二	二〇・七	四四	二五・〇〇
三〇—三四	三七	八・〇	二四	一八・四	五二	二六・五四
三五—三九	二〇	三七・五	二二	三・四九	四二	二九・四九
四〇—四四	三三	四九・三	二五	一八・〇	五八	三三・三
四五—四九	三三	四八・一	二七	二六・七	六〇	三六・〇八
五〇—五四	三三	五五・五	三三	三三・五	六六	三九・八三
五五—五九	二二	五・七	一九	三・九	四一	四三・四四
六〇—	三七	四三・六	四三	四七・三	八〇	四三・四四
計	四、六三三	二二・八	四、八八	一八・〇	九、五一三	二〇・五

一〇一一	二七	一九七一	一四	三	三〇七	六二	五九	三〇九
一一一二	一五	二四五六	二六	七	三八九	二七五	七六	二七六
一二一三	五	三九九元	四	九	八七五	二四	三	二八八
一三一四	六	二六六七	七	一	一四七元	二五	四	一六〇〇
一四一五	一	一	一	一	一	一	一	一
計	九六	一八三一九〇	九四九	一五	二〇五四	一九七	三五	一八六
村部								
六一七	八四	三	三	九	八	八七九	一七五	二
七一八	二〇六	二、一〇六	六	二	一一三	二四	三	二〇六
八一九	二〇	九	七五〇	九	二	一四九元	三二	三
九一〇	二五	六	二八〇	九	七	七七七	三〇	一〇五
一〇一一	九	一四	一四三九	一〇	一五	一三七六	二七	元
一一一二	八	二〇	二五五	八	九	二四六	一六	元
一二一三	八	元	三〇五	七	元	二六〇三	一五七	四八
一三一四	八	二四	二九七	五	九	一七六五	二五	三
一四一五	一	一	一	一	一	一	一	一
計	七四	一六、一〇七	六九	一〇	一四六	一四七五	三七	一五四

一一、茨城縣

井出、渡部兩氏は水戸市及農村の學童を調査し、その成績を一括すると第十三表の如く、市部初等科一年一〇・六三%、最高は一二歳の二九・八一%にして、村部に於ては六一・七歳六・二九%、最高一二一二三歳三〇・五七%を示して居る。

一二、東京府

東京市内各區學童の調査報告は多數に存し〇歳より二〇歳迄の年齢別男別に觀察する時は第十四表の如き成績であつて町部村部に比し、

昭	奥野、岡田	京橋區	一四八元	六〇%	〇一八〇歳迄住民
〃	近藤政義	東方舊區	二五四元	三九	初一—高二學童

〃	井上渡邊	京橋區	一〇九七	八四	一三—六〇以上 産業員
〃	澄川近藤、芦田	市内某官廳	一四三	八六・五	一三—七〇
〃	中川錦一郎	龜有工場	二〇元	四四	一五—一八歳男子
〃	加藤寛二郎	東京警視廳 管内娼妓	二二	六七	一九—三〇以上
〃	〃	〃	八四七	五〇	一九—三〇歳迄
昭二	服部靜雄	品川區	五七	四九	七一—二歳學童
昭一〇	吉原悟	麻布區	四一	二六・三	九—一五歳
昭一	野津井上	京橋區	一四九元	三五・三	六一—一五歳
〃	江場	〃	一五〇	三六	一三—二〇歳中學生
〃	〃	〃	一七六	四四	一三—一九歳女學生
〃	村上忠夫	市内	一〇三六	二九	初一—高二學童
昭一五	田中邦雄	下谷區	九六元	元	初一—高二學童
昭一	立野君子	牛込區	五九七	六八	一六—二三歳女子 未就學兒童
昭一六	吉岡立野、諸岡	〃	一七五	一四・四	五—六歳
昭一三	山縣柳	東京府及近 縣	二四七	四八	〇—一四歳 鐵道職員子弟
昭一六	東京市役所	向島區	二〇七	一〇〇	一—四歳
昭二	新井英夫	府下一寒村	六九	一八	七一—一六歳
〃	澤田、輕部、栗林	府下某町	三六〇	二五	初一—初六
昭一	新井英夫	府下町部	四〇三	一六	六一—一四歳
〃	〃	府下村部	三六六	一七	六一—一四歳
〃	栗山重業信	帝大小兒科	二九六	二四	〇—一五歳入院患者
〃	佐々木哲丸	泉橋病院	四六六	五九	〇—一四歳入院患者
〃	染谷明	杉並區	二五〇	四六	〇—一六歳 結核患者家族
〃	〃	〃	一五〇	一五	〇—一六歳 患者と接觸あるもの
〃	〃	〃	一〇〇	二〇	〇—一六歳弱質兒
〃	奥野徹	〃	二六七	七四	〇—一四歳以上 開放性患者家族
〃	〃	〃	一四二	六三	〇—一四歳以上 閉鎖性患者家族
〃	田村外三名	東京、横濱	四四	六二	七一—一二歳

第十四表 A 東京市内〇—二〇歳迄ノ「ツ」反應陽性率

年 齡	男		女		計
	被檢者	陽性率	被檢者	陽性率	
〇—一 歳	六六	二五.〇〇	一	二.九四	一〇〇
一—二 歳	一〇一	四九.〇〇	一	二.九四	一〇二
二—三 歳	一〇五	一九.〇〇	一	一.九四	一〇六
三—四 歳	一〇九	一七.〇〇	一	一.九四	一一〇
四—五 歳	一〇六	二六.〇〇	一	一.九四	一一〇
五—六 歳	九四	一五.八二	一	一.九四	九五
六—七 歳	一七三	一九.一八	一	一.九四	一七四
七—八 歳	二〇五	二五.三三	一	一.九四	二〇六
八—九 歳	二〇六	二九.六三	一	一.九四	二〇七
九—一〇 歳	一九五	三〇.五〇	一	一.九四	一九六
一〇—一一 歳	二二三	三九.〇〇	一	一.九四	二二四
一一—一二 歳	一九四	二七.六	一	一.九四	一九五
一二—一三 歳	一三八	二〇.〇〇	一	一.九四	一三九
一三—一四 歳	一〇六	五.八	一	一.九四	一〇七
一四—一五 歳	一〇五	五.八一	一	一.九四	一〇六
一五—一六 歳	一三三	三三.七	一	一.九四	一三四
一六—一七 歳	一八七	五〇.〇	一	一.九四	一八八
一七—一八 歳	七四二	五三.三	一	一.九四	七四三
一八—一九 歳	三五九	四六.九	一	一.九四	三六〇
一九—二〇 歳	一〇	八.〇〇	一	一.九四	一一
計	一九八三四	六九.九六	一七.七四	六.一四	一九〇一〇

第十四表 B 東京町部及村部學童陽性率

年 齡	男		女		計
	被檢者	陽性率	被檢者	陽性率	
六—七 歳	一四	三三.〇〇	四	七.〇〇	一八
七—八 歳	五〇〇	九.一八	八五	一五.一五	一三五
八—九 歳	五五〇	九.九	一〇〇	一三.一五	一六〇
九—一〇 歳	五五五	八.一	一四九	一〇.五	七〇四
一〇—一一 歳	五〇一	一一.三	一五	三.〇	五一六
一一—一二 歳	五三六	一四.三	一六	三.〇	五五二
一二—一三 歳	四七六	一三.〇	一五	三.〇	四九一
一三—一四 歳	一七六	一七.八	一六	三.〇	一九二
一四—一五 歳	一四	三〇.〇	一四	三.〇	二八
計	三,四七	七.三六	三二二	三.四六	三,七九
町 部	六—七 歳	七	七.六	一.四	八.一
村 部	六—七 歳	七	七.六	一.四	八.一
七—八 歳	二九	一三	四.〇	二.五	三五
八—九 歳	二六	一〇.六	二.九	二.六	三五
九—一〇 歳	三六	九.八	二.六	二.一	四二
一〇—一一 歳	三六	九.八	二.六	二.一	四二
一一—一二 歳	三六	九.八	二.六	二.一	四二
一二—一三 歳	三六	九.八	二.六	二.一	四二
計	一四一	一七	一七	一.九	一五八

本邦に於ける結核感染狀況並に之が結核死亡率との關係

第十四表C 東京京橋區民ノ「ツ」反應陽性率

年 齡	被 檢 者	陽 性 率	學 童	合 計
0—4 歲	三六〇	一五・〇一	—	三、六一〇 一五・〇一
5—9	四〇七	二九・八六	八、三六八	三、一八四 八、七七五 三二・七七
10—14	八〇	四五・四八	六、五五一	四六・一七 六、六三五 四六・一三
15—19	1,100	六七・七六	—	—
20—24	1,310	七九・四八	—	—
25—29	1,157	八四・二二	—	—
30—34	七九四	八五・〇六	—	—
35—39	五五八	八八・三七	—	—
40—44	四〇八	九〇・四四	—	—
45—49	三三三	八七・一四	—	—
50—	八三七	八四・六二	—	—

その陽性率高く、大阪市内の夫れに劣る。東京附近の町部及村部の陽性率は他府縣の夫れと同様に非常に低率である。

市内住民の「ツ」反應成績は奥野、岡田兩氏によるものみにてその陽性率は第十四表の如くである。

一三、新潟縣

小松雄吉氏は柿崎町學童六九一名を檢し、二四・四五%の陽性率を又柿崎町某軍需工場に於ては一三・五七歲迄の男子に於て五五・三〇%一二一四一歳の女子に於ては三三・六六%の陽性率を報告して居る。

一四、石川縣

有馬、安達、會根氏等による詳細なる報告があり縣内村部の學童は五、二五一名の被檢人員中一六・六%に於て、町部一、四八三名中二六・七%金澤市内學童二、一二六名中三〇・七%に於て陽性者を見出した。學童の他各

市町村別住民の年齢別觀察をなしてゐるが石川縣村部の陽性率は他府縣村部に比し非常に高率を示してゐる。

第十五表A 石川縣學童男女合計

村 部	市 部	合 計	陽 性 率
6—7 歲	6—7	617	38.1
7—8	7—8	718	33.3
8—9	8—9	819	34.6
9—10	9—10	910	38.0
10—11	10—11	1011	37.3
11—12	11—12	1112	33.4
12—13	12—13	1213	38.0
13—14	13—14	1314	33.1
14—15	14—15	1415	38.1
15—16	15—16	1516	33.3
16—17	16—17	1617	33.2
17—18	17—18	1718	33.3
18—19	18—19	1819	33.3
19—20	19—20	1920	33.3
20—21	20—21	2021	33.3
21—22	21—22	2122	33.3
22—23	22—23	2223	33.3
23—24	23—24	2324	33.3
24—25	24—25	2425	33.3
25—26	25—26	2526	33.3
26—27	26—27	2627	33.3
27—28	27—28	2728	33.3
28—29	28—29	2829	33.3
29—30	29—30	2930	33.3
30—31	30—31	3031	33.3
31—32	31—32	3132	33.3
32—33	32—33	3233	33.3
33—34	33—34	3334	33.3
34—35	34—35	3435	33.3
35—36	35—36	3536	33.3
36—37	36—37	3637	33.3
37—38	37—38	3738	33.3
38—39	38—39	3839	33.3
39—40	39—40	3940	33.3
40—41	40—41	4041	33.3
41—42	41—42	4142	33.3
42—43	42—43	4243	33.3
43—44	43—44	4344	33.3
44—45	44—45	4445	33.3
45—46	45—46	4546	33.3
46—47	46—47	4647	33.3
47—48	47—48	4748	33.3
48—49	48—49	4849	33.3
49—50	49—50	4950	33.3
50—51	50—51	5051	33.3
51—52	51—52	5152	33.3
52—53	52—53	5253	33.3
53—54	53—54	5354	33.3
54—55	54—55	5455	33.3
55—56	55—56	5556	33.3
56—57	56—57	5657	33.3
57—58	57—58	5758	33.3
58—59	58—59	5859	33.3
59—60	59—60	5960	33.3
60—61	60—61	6061	33.3
61—62	61—62	6162	33.3
62—63	62—63	6263	33.3
63—64	63—64	6364	33.3
64—65	64—65	6465	33.3
65—66	65—66	6566	33.3
66—67	66—67	6667	33.3
67—68	67—68	6768	33.3
68—69	68—69	6869	33.3
69—70	69—70	6970	33.3
70—71	70—71	7071	33.3
71—72	71—72	7172	33.3
72—73	72—73	7273	33.3
73—74	73—74	7374	33.3
74—75	74—75	7475	33.3
75—76	75—76	7576	33.3
76—77	76—77	7677	33.3
77—78	77—78	7778	33.3
78—79	78—79	7879	33.3
79—80	79—80	7980	33.3
80—81	80—81	8081	33.3
81—82	81—82	8182	33.3
82—83	82—83	8283	33.3
83—84	83—84	8384	33.3
84—85	84—85	8485	33.3
85—86	85—86	8586	33.3
86—87	86—87	8687	33.3
87—88	87—88	8788	33.3
88—89	88—89	8889	33.3
89—90	89—90	8990	33.3
90—91	90—91	9091	33.3
91—92	91—92	9192	33.3
92—93	92—93	9293	33.3
93—94	93—94	9394	33.3
94—95	94—95	9495	33.3
95—96	95—96	9596	33.3
96—97	96—97	9697	33.3
97—98	97—98	9798	33.3
98—99	98—99	9899	33.3
99—100	99—100	99100	33.3

第十五表B 石川縣金澤市ニ於ケル結核感染度 (一〇、七六七名)

八歳	三八一	九二	二四・一 ± 二・一九一	三五十三九	三一五	二八五	九〇・四 ± 一・六六〇
九	三三二	八四	二六〇 ± 二・四四四	四〇一四九	三八八	三七四	九六・三 ± 〇・九五八
一〇	三四六	八七	二五〇 ± 二・三三一	五〇一五九	一六六	一六一	九六・九 ± 一・三四五
一一	三八〇	一三二	三四・七 ± 二・四四二	六〇一六九	二四	二三	九五・八 ± 四・〇九五
一二	三六八	一二四	三三・六 ± 二・四六二	七〇	一	一	一
一三	三三六	一三二	四〇・四 ± 二・七一八	二	二	二	六・四 ± 四・三九五
一四	一、五九一	七六六	四八・一 ± 一・二五三	三	三	九	一六〇 ± 四・八九九
一五	一、二八〇	六二四	四八・七 ± 一・三九七	四	五	二〇	二三・五 ± 四・五九九
一六	五三六	二八四	五二・七 ± 二・一五七	五	五	一七	三〇・三 ± 六・一四一
一七	六五五	三三四	四九・四 ± 一・九五三	六	六	一九	三一・六 ± 六・〇〇二
一八	七〇六	四四六	六三・一 ± 一・八一六	七	八	二八	三四・五 ± 五・二八二
一九	四六九	二九六	六三・一 ± 二・二二八	八	二〇	四六	三二・八 ± 二・九五九
二〇	三九二	二七一	六九・一 ± 二・三三四	九	二七	六五	二三・七 ± 二・五六九
二一	三三四	三二六	六九・七 ± 二・五五三	一〇	二一	六三	二九・〇 ± 三・一〇九
二二	三三九	一八一	七五・七 ± 二・七七四	一一	二四	六九	二八・六 ± 二・九一一
二三	二二六	一六九	七四・七 ± 二・八九二	一二	二八	七七	二七・二 ± 二・六四五
二四	一七〇	一三九	八一・七 ± 二・九六六	一三	二五	七三	二八・八 ± 二・八四七
二五	一五六	一四三	九一・六 ± 二・三二一	一四	二二	六九	三一・〇 ± 三・一〇四
二六	一五一	一二二	八〇・七 ± 三・二二一	一五	二七	八九	三一・八 ± 二・七八八
二七	一三七	一二〇	八七・五 ± 三・八二六	一六	一四	七〇	四七・九 ± 四・一三四
二八	一六七	一四九	八九・二 ± 三・四〇二	一七	七〇	三八	五四・二 ± 五・九五五
二九	一三〇	一二三	九四・六 ± 一・九八二	一八	六七	四四	六五・六 ± 五・八〇三
一〇一四	三、〇一一	一、二四一	四一・二 ± 〇・八九七	一九	六八	四六	六七・六 ± 五・六七五
一五一九	三、六四六	一、九七三	五四・一 ± 〇・八二五	二〇	五三	三三	六二・二 ± 六・六六〇
二〇一二四	一、三五一	九八六	七二・九 ± 一・二〇九	二一	四八	二九	六〇・四 ± 七・〇五九
二五一二九	七四一	六五七	八八・六 ± 一・一六七	二二	五一	四二	八二・三 ± 五・三四四
三〇一三四	四二一	三八八	九二・一 ± 一・二九〇	二三	四九	三六	七三・四 ± 六・三三三

第十五表C 石川縣町部ニ於ケル結核感染度 (四、〇四五名)

三五十三九	三一五	二八五	九〇・四 ± 一・六六〇
四〇一四九	三八八	三七四	九六・三 ± 〇・九五八
五〇一五九	一六六	一六一	九六・九 ± 一・三四五
六〇一六九	二四	二三	九五・八 ± 四・〇九五
七〇	一	一	一
二	三	九	六・四 ± 四・三九五
三	五	二〇	一六〇 ± 四・八九九
四	八	二	二三・五 ± 四・五九九
五	五	一七	三〇・三 ± 六・一四一
六	六	一九	三一・六 ± 六・〇〇二
七	八	二八	三四・五 ± 五・二八二
八	二〇	四六	三二・八 ± 二・九五九
九	二七	六五	二三・七 ± 二・五六九
一〇	二一	六三	二九・〇 ± 三・一〇九
一一	二四	六九	二八・六 ± 二・九一一
一二	二八	七七	二七・二 ± 二・六四五
一三	二五	七三	二八・八 ± 二・八四七
一四	二二	六九	三一・〇 ± 三・一〇四
一五	二七	八九	三一・八 ± 二・七八八
一六	一四	七〇	四七・九 ± 四・一三四
一七	七〇	三八	五四・二 ± 五・九五五
一八	六七	四四	六五・六 ± 五・八〇三
一九	六八	四六	六七・六 ± 五・六七五
二〇	五三	三三	六二・二 ± 六・六六〇
二一	四八	二九	六〇・四 ± 七・〇五九
二二	五一	四二	八二・三 ± 五・三四四
二三	四九	三六	七三・四 ± 六・三三三

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

三四	三九	三三	八四・六士	五・七八〇	八	八七一	八七	九・九士	一・〇一二
二五	四七	三七	七八・七士	五・九七二	九	一、〇二六	一三四	一三・〇士	一・〇五〇
二六	四四	三五	七九・五士	六・〇八六	一〇	八一六	一三六	一六・六士	一・三〇三
二七	三八	三三	八四・二士	五・九一七	一一	九四七	一八九	一九・九士	一・二九七
二八	四七	四〇	八五・一士	五・一九四	一二	八九三	一五八	一七・六士	一・二七四
二九	六二	五六	九〇・三士	三・七五八	一三	九七四	二〇九	二一・四士	一・三三四
三〇	一七二	三一	一八〇・士	二・九二九	一四	六〇三	一五五	二五・七士	一・七八〇
三一	六七二	一七五	二六〇・士	一・六九三	一五	六七〇	一七四	二五・九士	一・六九二
三二	二、二二二	三五一	二八・九士	一・三〇二	一六	二一九	五九	二六・九士	二・九九六
三三	六三〇	二八七	四五・五士	一・九八二	一七	三三九	一二〇	三五・三士	二・五九六
三四	二四〇	一七三	七二・〇士	二・八九八	一八	一七三	六〇	三四・八士	三・六三二
三五	二三八	二〇〇	八四・〇士	二・三七六	一九	一四五	五六	三八・六士	四・〇四四
三六	二二二	一七六	八三・〇士	二・五八〇	二〇	二五二	一九	四七・二士	三・一四五
三七	一四七	一三五	九一・八士	二・二六三	二一	一〇三	五八	五六・三士	四・八八八
三八	二四九	二二三	九三・五士	一・五六三	二二	七六	四二	五五・二士	五・七〇四
三九	一九六	一八五	九四・三士	一・六五六	二三	九六	六三	六五・六士	四・八四九
四〇	七〇	六六	九四・二士	二・七九四	二四	八九	六六	七四・一士	四・六四三
四一	七〇	六六	七四・四士	一・七〇七	二五	八九	四九	五五・〇士	五・二七四
合計	四、〇四五	五	七一・四士	一七・〇七九	二六	八七	五三	六〇・九士	五・三三二
					二七	八七	六五	七四・七士	四・六六〇
					二八	一〇二	七五	七三・五士	四・三七〇
					二九	一〇四	七二	六九・二士	四・五二七
					三〇	四八〇	四七	九・七士	一・三五一
					三一	二、六〇七	三〇	一一・六士	〇・六二七
					三二	四、二三三	八四	二〇・〇士	〇・六一五
					三三	一、五四五	四六	三〇・三士	一・一六九
					三四	六一六	三四	五六・四士	一・九九八
					三五	四六九	三一	六六・九士	二・一七三
					三六	四七二	三五	七四・三士	二・〇一一

第十五表D 石川縣村部結核感染度 (二、五二九名)

二歳	八一	三	三・七士	二・〇九七	二四	四八〇	四七	九・七士	一・三五一
三	二二八	二四	一〇・五士	二・〇三〇	二五	一〇四	七二	六九・二士	四・五二七
四	一七一	二〇	一一・六士	二・四四九	二六	八七	五三	六〇・九士	五・三三二
五	三三三	三六	一一・一士	一・七四八	二七	八七	六五	七四・七士	四・六六〇
六	二一五	二三	一〇・六士	二・一〇〇	二八	一〇二	七五	七三・五士	四・三七〇
七	一七二	二三	一三・三士	二・五八九	二九	一〇四	七二	六九・二士	四・五二七
被檢數	八一	三	三・七士	二・〇九七	二九	一〇四	七二	九・七士	一・三五一

三五―三九	四〇五	三三三	七九・七±	一・九九九
四〇―四九	七三三	六〇七	八二・八±	一・三九四
五〇―五九	五九〇	五〇一	八三・三±	一・五三六
六〇―六九	三〇二	二七一	八九・七±	一・七四九
七〇―七九	六九	五八	八四・〇±	四・四一四
八〇―八九	七	四	五七・一±	一八・七〇六
九〇	一	〇		
中村	河北郡三谷村	三、〇六二	三五・五	村民
上田、森田、河村	野々宮町	一九〇	二一・〇五	六―一三歳男子
安藤、上田、山内	農村	一三五	五三・三三	七―五九歳男女
金原忠男	金澤市内	一、〇〇〇	三六・三	七―一三歳學童
横井、菱川、黒田		四九九	七三・五	一七―二三以上 其専校生徒
竹谷幸太郎		五〇〇	七六・〇	〇―三〇以上 結核患者家族
横井、井出、菱川、安藤	縣下機業女工	六五七	五〇・三八	一三―一五歳
芦澤藤亮	淺川村	二二二	二一・二三	七―一四歳
外九名		五二四	五八・七七	一五―一五〇歳以上
	大野郡	一、七四六	八〇・八	一三―一五〇 以上 工場員男子
		四、五〇七	六一・四	一三―一五〇 以上 女工
	金澤市内	四一八	七九・四	一―一四年男子 大學及學校生徒
		三一	五六・三	一―一五年及二部生 並に専攻生男子
		二五七	四〇・九	一―一五年及二部生 女子
		三九三	七八・三七	一八―三四歳男子 醫大及某學部生

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

一五、福井縣

古原氏等による縣内學童の詳細なる報告によれば村部に於ては石川縣と同様一六・八一%の陽性率を示したが町部及び市部に於ても略同率であつて市部の陽性率は石川縣の夫れに比し低い。

その他學童並に中等學校生徒の検査に於て

男子	一三三二名	三三・九一%	三・七―二一・六歳迄
女子	一三九五名	二七・四九%	三・七―一九・六歳迄
男子	四六七九名	四二・三%	二一―二二歳迄
女子	三二〇五名	三三・三%	二一―二二歳迄

昭和十年高島加藤兩氏によれば中等學校生徒

第十六表 福井縣内學童ノ「ツ」反應陽性率

縣内學童平均	男		女		計
	+	%	+	%	
六―七歳	三四〇	四六	二二五	三六六	四五六
七―八歳	五五〇	八八	一四八七	五五八	一五五〇
八―九歳	五六三	九四	一六四一	五九七	一六五〇
九―一〇歳	五六八	九九七	一七三三	五九八	一七五五
一〇―一一歳	五九七	一七六	二〇九	五七四	一七七一
一一―一二歳	五六九	一五六	三三〇	五五七	一三二六
一二―一三歳	四六九	一〇九七	二六六	三三三	一〇九七
一三―一四歳	三七七	一〇〇六	二八八	五〇	一三二六
計	四〇六六	七三〇〇	一九二一	三六五一	六九八七

福井市

町部	六十七	一九四	三五	一八〇四	二〇	三五	一六六六	四〇四	七〇	一七三三
	七一八	三〇四	六	二〇〇七	三三	三三	一九五〇	六七	二四	一九六
	八一九	三三〇	四	一九七〇	二七	五	二〇五〇	五八	一〇五	一九八九
	九一〇	三五五	九	二四三二	二八	五八	二〇五七	六七	一七	三三三
	一〇一一	三六四	八	二九三三	三三	八	二六五一	六六	一七一	二七七六
	一一一二	三七六	八	三二八八	三九	八〇	四九三三	五五	一六	三三三七
	一二一三	三〇八	三	二九八一	二八	三	二七三三	三六	九七	二六八七
	一三一四	一七九	六	三九九九	七四	二六	三七八四	二五	九六	三九九四
計	二,一〇〇	五三四	二五九四	一八六六	四四四	二五九二	三,八七六	九六八	二四九七	
村部	六一七	六六九	二五	一八二四	七〇	二五	一七六一	一三九九	二五〇	一七八七
	七一八	一,二二七	三六	二〇三三	一三四	二四四	二,〇一〇	二,二二一	四七三	二,〇一六
	八一九	二,二八二	二六八	三六六七	一,一八六	二五二	三,三二四	二,三〇〇	五三〇	三,三四一
	九一〇	二,二三三	三三六	三,三二二	二,二二	二七	二,四八二	二,三三三	三三	三,三八一
	一〇一一	二,一四四	三五九	二,四七二	一,一七六	三六	三,二七四	二,三三三	六三	二,七九五
	一一一二	一,一七三	三五九	一,四九	一,四九	三〇	二,三三〇	二,三三〇	七九	三,三七
	一二一三	八三	二四六	三〇〇〇	七五	三三	三,一五	一,五七七	四八	三,六三
	一三一四	六五	三九	三,七二四	四三	一五	三,六五七	一,〇四七	三六	三,九九六
計	七,九七六	二,〇〇六	二,五三四	七,六四八	二,〇〇	二,六五四	一五,五三四	四,〇三六	二,五九三	

一六、長野縣

大久保氏により農村の學童五二七名の検査が行はれ六・〇七%なる非常に低い陽性率を示して居る。

一七、静岡縣

稲玉、百田、高野等によつて沼津商業生徒一二八名の検査が施行され四九・二%の陽性者を見出した。

一八、愛知縣

昭一	一田中市次	名古屋市内	一,四六六名	五五%	七一二歳學童男兒
昭一	高木、長野	〃	一,三九三	四三%	七一二歳學童女兒
昭一	加藤喜一	〃	二,九八四	二四%	初一一六學童
昭一	長屋浩	〃	七	二四%	五十六歳園兒
昭一	近藤庸人	〃	三	七四%	一八—三〇歳以上鐵道病院看護婦
昭一	〃	〃	六五七	四四%	一三—六〇以上男子工員
昭一	〃	〃	一,〇三四	三三%	一三—六〇以上女工
昭一	結核豫防會	名古屋市内	二,〇六二	二四%	初一一高二迄ノ學童

第十七表 名古屋市結核豫防會昭15度

計	一	四,〇四四	一,四四四	三,六〇〇	二九七	九,九六	三三	七,〇二七	二七〇	三三八
男	一	八,五九七	一,三九七	六,二〇〇	一,一〇〇	八,四〇〇	一六	七,二〇〇	二七〇	一,一三〇
女	二	七,九七八	一,五七四	五,九〇五	八五五	七,〇五〇	一五	六,一九〇	二七〇	一,一三〇
一	三	八,三三九	一,八五〇	六,四八九	一,八五〇	八,三三九	二六	七,〇七二	二七〇	一,二六七
二	四	七,五五八	一,八七五	五,六八三	一,八七五	七,五五八	二六	六,六八三	二七〇	一,二六七
三	五	七,八七六	二,二三四	五,六四二	二,二三四	七,八七六	二九	七,〇〇〇	二七〇	一,一〇〇
四	六	六,九五〇	二,〇六六	四,八八四	一,〇六六	六,九五〇	二九	六,六五〇	二七〇	一,〇〇〇
五	計	一,四七三	一,〇八六	三三一	三六六	一,四七三	三三	一,一三〇	二七〇	二〇三
六	高	一	四,〇四四	一,四四四	三,六〇〇	二九七	九,九六	三三	七,〇二七	二七〇

計	二	五七二	二四八	二四二	七九	三三	五六三	二二三	七五五
合	計	五七二	二四八	二四二	七九	三三	五六三	二二三	七五五
一九、兵庫縣									

井上卓二	神戸市内	五、四〇〇	五、三三〇	一〇一七	七歳學童
神戸市	〃	七、五七三	三、四六二	初一—六迄ノ學童	
〃	〃	八、七〇八	四、九六八	高一—高二ノ學童	
昭一五 古川 三郎		六、四〇〇	八、九二二	工 一—三三歳ノ女	
山本、池内、宮西		三、七〇三	六、七八五	高二ノ男兒	
昭一二 西垣、八太、寶來		一、九〇六	六、七三三	高二ノ女兒	
		一、〇三三	六、三三三	一三一—一八歳某中學生	

第十八表 兵庫縣神戸市内學童

年 齡	男		女		計	
	被檢者	陽性者	被檢者	陽性者		
六—七 歲	八、五三二	二、四七〇	二、三三三	二、七五五	四、七三〇	二、七八三
七—八 歲	八、七〇〇	三、八四〇	三、九一七	三、八八六	三、三二二	三、三〇五
八—九 歲	八、三三四	三、九九五	三、九一六	三、七〇四	三、六〇三	三、五八六
九—一〇 歲	八、〇三三	三、二一七	三、一六六	三、〇六六	三、〇三三	三、〇一六
一〇—一一 歲	三、九九〇	六、三三〇	四、三六三	五、八八〇	四、二九八	三、七三三
一一—一二 歲	二、〇五八	四、四三〇	四、二七一	四、一三三	二、〇九三	四、一六八
一二—一三 歲	七、五五四	三、八九八	五、二八八	三、七九〇	五、四三九	五、三八九
一三—一四 歲	四、五九九	二、三三三	二、九九五	一、四六九	七、二五四	四、九六四
一四—一五 歲	一、〇五五	七、四〇八	三、九一六	七、〇三〇	二、四四〇	七、〇四九
一五—一六 歲	七	七、一四三	四	七、五〇〇	一一	七、二七三
計	七〇,七二六	二六,〇九二	四〇,〇〇三	三六,三〇九	三九,〇一〇	三六,三六七

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

二〇、京都府	昭一三 千葉知行	福地山	六九一	三、三三〇	三一—一五歳迄
	關 和 夫	京都市	七四三	三、三三一	初一—六迄ノ學童
	昭一三 千葉知行	中夜久野小學校	二六六	六、〇〇〇	初一—高二迄結核ノ爆發的流行時
	昭一六 富田 房精	京都市	三六一	二、九二一	某女專一—三年生
二一、奈良縣	昭一二 今村荒男	某山村	一、三三〇	一、四〇〇	七—一七歳以上學童
	昭一四 田中正好	某村	四〇六	五、八〇〇	一—六〇歳以上村民
二二、和歌山縣	昭一五 小倉 勇	和歌山市	九七七	三、六一	八—一五歳學童
	昭一六 河合宗治	農 村	三〇〇	一、八二八	尋一—高二學童
二三、三重縣	栗栖義元	農 村	三八	一、七五〇	七—一四歳學童
	新見正喜	某毛織工場	一、三六〇	三、二一〇	一〇—一四歳迄ノ男女
	場生松小侯	津	三、四四五	三、〇〇〇	壯丁
二四、大阪府	昭一二 河盛勇造	大阪市内	六、六六	四、四三三	園兒及初一—六迄ノ男兒
	昭一三 〃	〃	五、〇九	三、六三三	〃
	昭一四 〃	〃	五、九七	三、七三六	〃
	〃	〃	六、〇四	三、八二八	〃

第十九表 A 大阪市學童その他の「ツ」反應陽性率

年 齡	男			女			計
	被檢者	陽性者	陽性率	被檢者	陽性者	陽性率	
0-1 歲	1	1	100	1	1	100	2
1-2 歲	1	1	100	1	1	100	2
昭一	今村荒男	市內及郊外工場	23.6	133	62	46.6	266
昭二	井下、鶴崎、黃揚	市內及郊外工場	33.3	236	79	33.5	572
昭三	坂本、大賀、山野	市內某商店	78.8	130	102	78.5	260
昭四	宮西憲一	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭五	西井、鶴崎、黃揚	市內及郊外工場	67.7	236	160	67.8	472
昭六	西川外二名	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭七	小山、齊藤	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭八	日置、井下、米田	市內及郊外工場	67.7	236	160	67.8	472
昭九	田中	市內及郊外工場	33.3	236	79	33.5	572
昭一〇	巽、稔	市內及郊外工場	33.3	236	79	33.5	572
昭一一	西川外二名	市內及郊外工場	33.3	236	79	33.5	572
昭一二	貴島、鶴崎	市內及郊外工場	33.3	236	79	33.5	572
昭一三	坂本、大賀、山野	市內某商店	78.8	130	102	78.5	260
昭一四	宮西憲一	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭一五	西井、鶴崎、黃揚	市內及郊外工場	67.7	236	160	67.8	472
昭一六	西川外二名	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭一七	貴島、鶴崎	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭一八	坂本、大賀、山野	市內某商店	78.8	130	102	78.5	260
昭一九	宮西憲一	市內某商店	91.5	131	120	91.6	262
昭二〇	西井、鶴崎、黃揚	市內及郊外工場	67.7	236	160	67.8	472
計			67.7	236	160	67.8	472

第十九表 B 大阪五歲附級別「ツ」反應陽性率

年 齡	男			女			計
	被檢者	陽性者	陽性率	被檢者	陽性者	陽性率	
0-4 歲	1	1	100	1	1	100	2
5-9 歲	1003	866	86.3	1003	866	86.3	2006
10-14 歲	1260	936	74.3	1260	936	74.3	2520
15-19 歲	6335	4582	72.3	6335	4582	72.3	12670
20-24 歲	2898	2140	73.8	2898	2140	73.8	5796
計	9664	7124	73.6	9664	7124	73.6	19328

二五—二九	四〇七八	三八五五	二、四〇〇	一、九四〇	八〇八五	八二五五	七、三三四	八七七四
三〇—三四	—	—	—	—	—	一、八三三	一、六〇三	八七七九
三五—三九	—	—	—	—	—	一、三六四	一、三三七	八七九三
四〇—四四	—	—	—	—	—	一、一九九	一、〇〇八	八四七八
四五—四九	—	—	—	—	—	八〇九	六八八	八五〇四
五〇—五四	—	—	—	—	—	—	—	—
五五—五九	—	—	—	—	—	—	—	—
六〇—六四	—	—	—	—	—	—	—	—
六五—六九	—	—	—	—	—	—	—	—
七〇—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一六八二	二、六六七	七、五五〇	一〇、八三三	七、〇五五	六、八八八	四、〇三七	三、六八一

以上を年齢別に観察する時は第十八表の如く即ち大阪は全國第一位の陽性率を示し、園児既に四二・一三%、小學校卒業頃五〇%を超え、二〇歳にして七五・九五%に上昇して居る。

二五、島根縣

昭一二 竹川 泰治	純農村	一、二八五	六・八五%	初一—高二迄ノ學童
昭一三 清水 親義	〃	一、七〇二	一一・八六%	〃
昭一四 鈴木 茂	松江市	五八九	三六・六七%	某高女生徒
昭一五 〃	〃	六三四	六一・一九%	一一四年及補習科
昭一四 〃	今市町	八三	二四・四八%	七一—九歳虛弱兒童
昭一五 〃	〃	七四	三三・四三%	〃

二六、廣島縣

昭一四年武智誠藏氏は香川縣下の學童並中等學校生徒の「ツ」反應を檢し次の如き成績を得た。

本邦に於ける結核感染狀況竝に之が結核死亡率との關係

市部 學童	七、四二六名中	二三・一二%	七一—一五歳
町部 學童	一〇、五九六	一八・九四%	七一—一六歳
村部 學童	七、五二〇	一一・六八%	七一—一六歳
男子中等學校生徒	一、二八九	三〇・八七%	一三—二〇歳
女學校生徒	二、四〇一	三六・七六%	一三—一九歳
男子師範一部	一五六	五六・六二%	一五—二二歳
女子師範一部	一五五	四一・二九%	一五—二二歳
女子師範二部	一三三	三一・〇六%	一七—二二歳
女子師範三部	六九	三四・七七%	一七—二〇歳

第二十表 A 香川縣學童並に中等學校生徒「ツ」反應調査成績

縣内學童並に中等學校生徒	男		女		計
	被檢者者	陽性率	被檢者者	陽性率	
七歳	一、六二七	二四・一〇四	一、四九六	一七・一七四	三、一二五
八歳	一、八一〇	三三・三四八	一、七二八	三三・二三四	三、五三六
九歳	一、六九七	二五・一四〇	一、七五五	二五・〇〇七	三、四五二
一〇歳	一、六九七	二七・二六八	一、六二七	二七・八三三	三、三二四
一一歳	一、七七七	三六・一八〇	一、八二六	三五・九一五	三、六〇二
一二歳	一、七三三	三八・一八〇	一、九三二	二六・〇一八	三、六六四
一三歳	一、九四六	五六・二六〇	一、七三三	四九・七三三	三、六七九
一四歳	一、七三三	四七・三三三	一、七〇六	三七・五五九	三、四三九
一五歳	四四五	二五・七〇六	六四〇	二七・三三九	一、〇八五
一六歳	二四二	九・五九三	三三三	三三・七七一	五七〇
一七歳	二四〇	一八・七〇八	四七七	二〇・四七五	七一七
一八歳	一七九	六・七九九	一六五	一六・七九九	三四四
一九歳	三三	三三・〇七九	四	一六・六六六	三七
二〇歳	三	四七・七四	一	三三・三三三	四
計	一四、八八六	三、九五一	一四、九三五	三、二二五	二、九七五

人口問題研究 第四卷 第二號

市部學童並中等學校生徒合計

七歲	五二一	四一四	三三三	四四一	三三三	六六六	八八八	二二二	三三三
八	五二四	六六六	三三三	四九〇	七五五	一〇〇〇	一〇〇〇	一四四	一三三
九	五三三	九六六	四九二	四九二	七九九	一〇〇七	一七五	一七〇	一七〇
一〇	四七七	九六六	四三三	四三三	七〇〇	九三三	一六九	一八三	一八三
一一	四三三	一〇七	三三三	五〇〇	二〇〇	一〇〇六	二七	二二七	二二七
一二	四七七	一一〇	三〇六	四三〇	九三	一〇〇	三〇七	三三三	三三三
一三	九〇〇	三三三	三三三	三三三	二八八	一〇〇	六〇〇	三三三	三三三
一四	六〇〇	三三三	三三三	七三六	三三〇	三三三	一三三	三三三	三三三
一五	二六三	七六六	二六六	五〇九	三〇	八三三	二七七	三三三	三三三
一六	二四〇	九三三	三三三	五三三	二〇七	七三三	三〇三	三三三	三三三
一七	二四〇	八九	三〇八	四七	二〇〇	四七	二八九	四三九	四三九
一八	一七九	六	三九九	一六五	六	三九九	一三三	三三三	三三三
一九	六	三	五〇七九	四	一六	三三三	一〇七	四六六	四六六
二〇	六	四	六七四	一五	五	三三三	七	六〇〇	六〇〇
計	五四七	一五三	二七三	六三〇	一七三	二七九	三三三	二七九	二七九

第二十表B 香川縣

町部

七歲	七三	八九	二二四	六五	八七	一三〇	一七八	二七	三三
八	七三	一五	一四八	七	二	一五九	一五	三六	三三
九	六四	一〇	一五三	七〇	一三	一八〇	一七	二四	二四
一〇	七三	一三	一六九	六三	一四	一三三	一九	二五	一九
一一	七九	一五	一九六	七五	一七	二〇〇	二五	三三	三三

村部

計	三、八九	四三	二二六	三七二	四八	三、〇四	七、五〇	八七九	二一六
一六	三	二	六六六	五	二	四〇〇	八	四	五〇〇
一五	五七	一九	三三三	四〇	五	二二五	九	二四	二四
一四	三〇	五	一六五	二七	五	一四八	八	一五	一五
一三	三六	五	一五三	三〇	六	一三三	六	一七	一七
一二	五三	六	二二九	四八	六	二二七	三	三	三
一一	五六	六	一三七	五七	七	一三五	一	一	一
一〇	四八	五	一〇九	五〇	六	一一一	一	一	一
九	四七	三	八〇	五五	五	九五一	一	一	一
八	五四	四	八七	四九	五	八七〇	一	一	一
七	五五	三	五六	四八	四	九三三	一	一	一
計	五、四九	一、〇七	一、八三	五、一〇	一	一、九三	一〇、五九	二、〇七	一、八九

二八、福岡縣

昭一三 渡邊 戸早	九大小兒科	一八三	二七九	〇—三歲迄
昭一五 渡邊 戸早	赤ん坊會	一〇三	三三〇	初—六迄學童
高尾 健嗣	福岡市内	三六六	一六九	〃
昭一五 遠城寺宗徳	〃	七〇	三三三	三—六歲園兒
昭一六 高田、石井	八幡市	二〇六	三三三	初—六迄學童

昭一四	中島良貞	福岡八幡兩市	一六六	五六	一六以上
昭一五	中島良貞	〃	一七九	五〇六	〃
昭一三	戸田忠雄	福岡三デパート	一八八	六八九	一四一以上男子
	外一〇名	福岡專賣局	一八八	六八九	一四一以上男子
		博多鐘紡	四〇三	五三四	一四一以上女子
		久留米鐘紡	四〇三	五三四	一四一以上女子
		久留米日本ゴム	四〇三	五三四	一四一以上女子
		會社	四〇三	五三四	一四一以上男子
		折尾日産化學會社	四〇三	五三四	一四一以上男子
		小倉化學工業	二五五	三七四	一四一以上女子
		小倉齒科醫專	一五五	一四一以上男子	一四一以上男子
			七一九	七七一	一七一以上男子

第二十二表 福岡縣市部學童その他の「ツ」反應成績

年 齡	男		女		計
	被檢者	陽性率	被檢者	陽性率	
〇歳	—	—	—	—	—
一歳	—	—	—	—	—
二歳	—	—	—	—	—
三歳	—	—	—	—	—
四歳	—	—	—	—	—
五歳	—	—	—	—	—
六歳	—	—	—	—	—
七歳	—	—	—	—	—
八歳	—	—	—	—	—
九歳	—	—	—	—	—

本邦に於ける結核感染狀況竝に之が結核死亡率との關係

九一〇	二〇六	五五	二六九	一八六	四四	二九九	三三七	一〇二	二五八
一〇一	一八四	五三	二六二	一八三	四六	二五九	三六四	九〇	二七一
一一一	一八〇	五五	三〇四	一七九	五八	二六三	三六四	一〇七	二九六
計	三、八八	二、九三	二、九八	二、八七	三、八一	二、九三	三、六三	三、六三	

福岡、八幡兩市民の「ツ」反應成績

年 齡	被檢者	陽性者	陽性率
一	五	二	四二
六	一〇	一七	一七五二
一	一五	七	九二三
一六	二〇	一、四	二四
二一	二五	七	八九
二六	三〇	四	三五
三一	三五	二	一〇
三六	四〇	二	一一
四一	四五	二	六一
四六	五〇	二	四四
五一	五五	二	三三
五六	六〇	一	〇四
六一	六〇	一	一五六
計	三、一三	八、五	二七・一八

福岡市内の乳幼児及び學童の陽性率並びに福岡八幡兩市民の検査成績を合する時は前表の様な成績である。

二九、長崎縣	〃	〃	〃
一瀬忠行	壹岐郡	六、六二〇名	一五・四%
村部		一、四九七名	一〇・六%

一瀬忠行 町部 二、〇〇六名 二四・二% 尋一—高二迄ノ學童
 三〇、熊本縣

戸田忠雄 熊本製絲 二三五名 五一・九% 一二—一三〇歳以上
 女子

尾崎 徹 熊本市外 某村學童 一、〇〇〇名 二七・四% //

三一、鹿児島縣

昭二五 西郷、糴田 川内市 一、六三二名 三三・二% 初一—高二迄ノ學童

村部 二、七〇一名 一五・五%
 農村乳 一、五六九 一三・七% 一—六歳ノ幼兒
 幼兒

この他府縣別の總計的觀察としては昭和十四年度内原訓練所入所生の出身地別觀察及び昭和十五年年度體力検査成績がある。(實數省略)前者に於ては寺岡正氏及太田健三氏の報告を合する時は一五—二〇歳の青年男子二四二三八名中陽性率は平均二六・四六%を占め最も高率を示すは大阪の六六・五七%次いで東京の四八・五六%及び兵庫の四七・二三%にして神奈川の四三・二〇%が之れにつぐ、後者に於ても大阪の四八・六二%最高を占め次いで京都、東京、神奈川、愛知、福井、富山、香川、沖繩の順位にして、平均三一・八六%、前者に於て陽性率の低いのは十五歳よりの低年齢の者を合したると共に、内原訓練所入所生は農村出身者の概して多きが故ならんか、何れにしても六大都市を含む府縣に於て一般に高率にして、前後者何れに於ても東北、關東の諸縣に於てその陽性率は至つて低い。

内原訓練所體力検査成績

府縣	昭一四	昭一五	昭一六	昭一七	昭一八	昭一九	昭二〇	昭二一	昭二二	昭二三	昭二四	昭二五
全 國 平 均	二六・四六	三一・八六	二五・五	二七・四	二八・五	二九・六	三〇・七	三一・八	三二・九	三三・〇	三三・一	三三・二
一 北 海 道	三一・六四	三三・六〇	二七・大	二八・兵	二九・庫	三〇・賀	三一・重	三二・知	三三・岡	三三・阜	三三・野	三三・梨
二 青 森	二九・八四	二五・七五	二八・兵	二九・庫	三〇・賀	三一・重	三二・知	三三・岡	三三・阜	三三・野	三三・梨	三三・山

二九	奈良	三三・八六	二八・九一
三〇	和歌山	三五・七一	二四・六六
三一	島取	二一・七七	三〇・一一
三二	島根	一九・六七	二五・四八
三三	岡山	二五・七五	一四・七九
三四	廣島	三一・〇〇	三一・〇八
三五	山口	二三・八七	二三・六八
三六	徳島	三四・九〇	二四・三八
三七	香川	三三・九九	三五・六四
三八	愛媛	二八・七七	二四・五六
三九	高知	三〇・三六	一九・六七
四〇	福岡	三〇・〇〇	二九・一八
四一	佐賀	二三・〇八	二七・八七
四二	長崎	三三・九四	三〇・三八
四三	熊本	二三・八〇	二八・九六
四四	大分	二九・四九	一九・六一
四五	宮崎	二三・四四	二八・六三
四六	鹿児島	二五・一七	二三・六〇
四七	沖縄	四〇・四〇	三四・七九

四

以上の成績(五歳階級別陽性率)を以て昭和十年度國勢調査人口より「ツベルクリン」反應陽性者を推定する時は次表の様な陽性者數を得た。今此の「ツ」反應陽性者に對する昭和十年度結核死亡者の割合之れは眞の致死

本邦に於ける結核感染狀況竝に之が結核死亡率との關係

率ではない。併し一定の年齢に於ける人口の結核に對する抵抗力を知る上の一つの示標と爲し得るものと思ふ。を年齢別に觀察するに第二十二表の様〇十歳に於て最も高く二〇—二四歳の〇・八四%之れに次ぎ、次いで一五—一九歳の〇・七四%、二五—二九歳の〇・五七%であつて、一〇—一四歳及び三〇—三四歳の〇・四〇%次いで五—九歳の〇・三〇%にして三〇歳以後は年齢と共に順次漸減の傾向を示して居る。

第二十二表 全 國

歳	人口	陽性率 (%)	推定陽性者數	結核死亡數	致死率 (%)
〇—四	九,三六,五〇一	五・四八	五二,四四四	五,一四三	一・〇一
五—九	八,五三,四九一	二・五三	二一,四三九	三,九四八	〇・三〇
一〇—一四	七,六五,二四七	二・四六	一八,九〇七	七,六四一	〇・四〇
一五—一九	六,二四,〇九七	四・六七	二八,四一三	二,〇七〇	〇・七四
二〇—二四	六,〇七,〇九一	五・五八	三三,六二四	二,八五八	〇・八四
二五—二九	五,四四,〇八三	六・〇六	三三,〇三三	一,八九七	〇・五七
三〇—三四	四,六三,六七七	六・四九	二九,九七九	一,一六六	〇・四〇
三五—三九	四,〇四,八八六	六・〇一	二四,三三三	七,六三九	〇・三二
四〇—四四	三,四四,〇一一	六・一七	二一,〇七三	五,四四三	〇・二六
四五—四九	三,一三,八六六	六・九五	一八,六三三	五,〇〇一	〇・二六
五〇—	二,〇五,九五二	六・〇三	一二,三九一	一,五七一	〇・一二

第二十三表 市 郡 別

歳	市部人口	陽性率 (%)	推定陽性者數	結核死亡數	結核致死率 (%)
〇—四	二,七九,七三三	八・五四	二二,七〇六	二,三三三	〇・九四
五—九	二,一七,七三三	八・五四	一七,一七三	一,三三三	〇・九四
一〇—一四	一,七九,七三三	八・五四	一三,一七三	一,〇〇〇	〇・九四
一五—一九	一,四一,七三三	八・五四	九,一七三	七〇〇	〇・九四
二〇—二四	一,〇三,七三三	八・五四	六,一七三	四〇〇	〇・九四
二五—二九	七五,七三三	八・五四	三,一七三	二〇〇	〇・九四
三〇—三四	四七,七三三	八・五四	一,一七三	一〇〇	〇・九四
三五—三九	一九,七三三	八・五四	一,一七三	一〇〇	〇・九四
四〇—四四	一,一七三	八・五四	一,一七三	一〇〇	〇・九四
四五—四九	一,一七三	八・五四	一,一七三	一〇〇	〇・九四
五〇—	一,一七三	八・五四	一,一七三	一〇〇	〇・九四

第二十四表 郡部男女別

郡部	年 齡	郡部 男子人口	陽性率 (%)	推定 陽性者數	結核死 亡者數	致死率 (%)	郡部 女子人口	陽性率 (%)	推定 陽性者數	結核死 亡者數	致死率 (%)
五一九	歲	二五九,六四六	二六.九	六,七〇〇.三	一,六二九	〇.三五					
一〇一四	歲	二二九,七五四	三〇.三	八,五三四.六	二,五〇一	〇.三〇					
一五一九	歲	二七二,一二七	六四.八	一,七五〇.八	七,五五九	〇.四三					
二〇一四	歲	二五九,九五四	七.四	二,〇一〇.六	七,九五四	〇.三九					
二五一九	歲	二一〇,三九六	八六.六	一,八一四.七	五,四六六	〇.三〇					
三〇一四	歲	一七四,一九七	八五.八	一,四八五.七	三,六〇六	〇.三三					
三五一三	歲	一四三,九六七	八六.八	一,三三七.五	二,四四五	〇.一九					
四〇一四	歲	一二五,二九六	八六.九	九,六九四.五	一,八三三	〇.一八					
四五一四	歲	九五,三七〇	八五.四	八,一六九.九	一,六六五	〇.二〇					
五〇一	歲	三六〇,九四七	七.三	二,〇一〇.一	三,六四四	〇.一八					
郡部人口			陽性率 (%)	推定 陽性者數	結核死 亡者數	致死率 (%)					
〇一四	歲	六五,五六七.六	四.九	二,七四七.六	二,九〇九	一.〇六					
五一九	歲	六一,三七七.三	一一.〇	六,七七三.九	三,三三九	〇.四四					
一〇一四	歲	五,四四九.三	一九.六	一,〇五五.三	五,〇七九	〇.四八					
一五一九	歲	三九,九八〇.〇	二七.五	一,〇〇〇.五	一,五五〇.八	一.三四					
二〇一四	歲	三,四七四.一	三六.八	一,三五一.〇	二,〇四四	一.五					
二五一九	歲	三,三六七.七	四七.三	一,四九〇.〇	一,三四一	〇.九〇					
三〇一四	歲	二,八八八.四	四八.七	一,四九二.六	八,〇三〇	〇.五七					
三五一三	歲	二,三〇六.七	五三.四	一,三三三.七	五,三三四	〇.六六					
四〇一四	歲	二,二九〇.七	四九.四	一,三三三.〇	三,七七一	〇.三三					
四五一四	歲	二,一五九.四	五二.一	一,二六六.八	三,五三七	〇.三九					
五〇一五	歲	二,〇九九.八	五四.五	一,一〇七.〇	三,九六六	〇.三六					
五五一五	歲	一,八九八.四	五四.九	一,〇〇〇.七	二,五八四	〇.三三					
六〇一六	歲	一,四六四.〇	六〇.六	八,八九九.四	一,七六四	〇.二〇					
六五一	歲	一,〇七四.〇	五七.九	六,四九三.三	一,八二〇	〇.一九					

五五―五九 七二―七五 四八―五三 四四―四八 一〇―一三 〇―三 五―一九 次いで二五―二九歳の女子、男子の順位である。

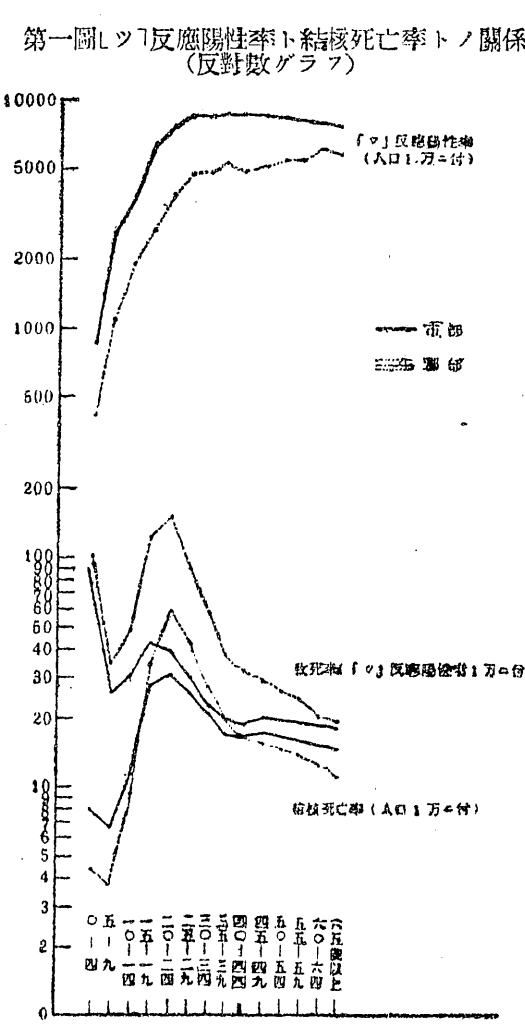
六〇― 二二―二三 四四―四七 九〇―九四 一四―一六 〇―一四

之れを市部と郡部とに分ける時は郡部に於ける致死率は市部に比し高率を示し、市部に於ては〇―四歳に次ぎ一五―一九歳、二〇―二四歳一〇―一四歳、二五―二九歳の順位を示すが郡部に於ては最も高きは二〇―二四歳次いで一五―一九歳、次いで〇―四歳、二五―二九歳、三〇―三四歳、一〇―一四歳の順位を示して四〇歳以後は年齢と共に減少して居る。即ち郡部居住者の「ツベルクリン」反応陽性者数は少いが陽性者の結核致死率は

以上を總括すれば學齡前の乳幼児の「ツ」反応陽性率は二―一五・三五% 平均八・一九%にして學齡期に於ては一四・四一より三六・九五%に上昇平均二二・八三%にして、一五歳以後二〇歳にては四四・〇%より五六%に上昇平均五一・七三%を示して居る。

性別に觀察する時は學齡期に於ては村部及町部に於てはその差を認めないが市部の高學年及一五歳以後に於て男子に於て其の陽性率高きは社會的接觸によるものであらうか。

之等を府縣別に見る時は大阪に於てその陽性率最も高く兵庫、東京、京都等大都市を含む府縣に於て高率を示し、農村部の陽性率は非常に低く六―七歳に於て三・五一、五・一六、六・五%等を示すものさへある。



市部に於ては男女別の記載少く之れを性別の觀察不可能であつたが郡部に於ては(男女合計の分と數字の一致しないのは男女別不詳を除いたためである)何れも〇―四歳に於て最も高く殊に男子に於て高率であつて次いで女子の一五―一九歳、次ぎは男子及び女子の二〇―二四歳から男子の一

「ツ」反応陽性者と結核死亡率との關係を見るに〇―四歳に於て最も高き致死率を示し次いで青年期(一五―二五歳)である。市郡別に見る時は郡部は「ツ」反応陽性者少きも感染者の致死率は市部に比し高率である。

市郡別五歳階級別の「ツ」反應成績は市部に於て、その陽性率高きは勿論なるもその上昇度は年齢と共に急激に増加し二五―二九歳に於て最高八五%に達するも、村部に於ては陽性率は市部の略、二分の一程度にして三五歳を過ぎてはじめて五〇%以上となるに至る。

本邦に於ける結核感染状況並に之が結核死亡率との關係

彙報

行政事務簡素化具體化の爲にする重要事業場勞務管理令施行規則其他の省令中改正の件公布

行政事務簡素化具體化の爲にする重要事業場勞務管理令施行規則其他の省令中改正の件は昭和十八年二月十五日付官報を以て左の通り公布せられた。

行政事務簡素化具體化ノ爲ニスル
重要事業場勞務管理令施行規則其
ノ他ノ省令中改正ノ件

(昭和十八年二月十五日
厚生省令第三號)

第一條 重要事業場勞務管理令施行規則中左ノ通改正ス

第二條第一項但書中「鐵道營業法」ノ上ニ「國民徵用令第十八條第二項ノ規定ニ依リ既ニ厚生大臣ノ認可ヲ受ケタル事項」ヲ加フ

第五條 第六條及第八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ國民徵用令第十八條第二項ノ規定ニ依リ既ニ厚生大臣ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十條第一項中「厚生大臣ノ認可」ヲ「所管勞務監理官ノ承認」ニ、同條第三項中「許可ノ申請書」ヲ「承認ノ申請書」ニ改ム

第十三條第二項ヲ削リ同條第一項中「計畫ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クベシ」之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ「計畫ヲ定ムベシ」ニ、同條第三項中「認可ヲ受クベキ期限」ヲ「計畫ヲ定ムベキ期限」ニ改メ同項ヲ第二項トス

第十四條 厚生大臣必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ給食施設、應急診療方法其ノ他ノ厚生施設ヲ爲スコトヲ命ズルコトアルベシ

第十五條乃至第十七條 削除

第二十二條 第一項中「計畫實施ノ結果ヲ翌年一月末日迄ニ厚生大臣ニ報告スベシ」ヲ「定ムベシ」ニ、同條第二項中「計畫ノ報告ノ期限」ヲ「計畫ヲ定ムベキ期限」ニ改ム

第二十三條 事業主ハ様式第五號乃至第七號ニ依リ毎月ノ從業者ノ殘業、遅刻、早退、缺勤及懲戒ノ狀況調ヲ作成スベシ

第二十四條中「遅滞ナク」ヲ削リ「地方長官」ヲ「所管勞務監理官」ニ、「報告」ヲ「速報」ニ改ム

第二十六條中「又ハ地方長官」ヲ削ル

第二十七條 削除

様式第一號乃至第四號中「認可」ヲ「承認」ニ、「厚生大臣」ヲ「所管勞務監理官」ニ改ム

第二條 學校卒業者使用制限令施行規則中左ノ通改正ス

第三條ノ二中「其ノ申請ヲ爲スベシ」ヲ「豫メ其ノ旨届出ツベシ」ニ改ム

第三條 勞務調整令施行規則中左ノ通改正ス

第五條第一項ニ左ノ二號ヲ加フ

七 令第十一條第三項ノ規定ニ依リ新ニ雇入及就職ト看做サルル場合ニ於ケル同種(別表事業分類表ノ中分類ニ依ル以下同ジ)ノ工場、事業場

其ノ他ノ使用ノ場所間ニ於テ爲ス技能者ノ所屬ノ移動及令第七條第二號ニ定ムル者以外ノ者ヨリ令第七條第二號ニ定ムル者ニ技能者ノ所屬ノ移動ヲ行フ場合但シ後ノ使用ノ場所ガ本則施行

地外ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

八 徵用セラレタル技能者其ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ雇入及就職ノ場合

第六條第一項ニ左ノ二號ヲ加フ

六 令第十一條第三項ノ規定ニ依リ新ニ雇入及就職ト看做サルル場合ニ於ケル同種ノ工場、事業場其ノ他ノ使用ノ場所間ニ於テ爲ス國民學校修了者ノ所屬ノ移動及令第七條第二號ニ定ムル者以外ノ者ヨリ令第七條第二號ニ定ムル者ニ國民

學校修了者ノ所屬ノ移動ヲ行フ場合但シ後ノ使用ノ場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

七 徵用セラレタル國民學校修了者其ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ雇入及就職ノ場合

第七條各號ヲ左ノ如ク改ム

一 第一期 四月ヨリ九月迄ノ間ニ於テ雇入レントスル申請ニ在リテハ期間開始ノ年ノ一月十日

二 第二期 十月ヨリ翌年三月迄ノ間ニ於テ雇入レントスル申請ニ在リテハ期間開始ノ年ノ七月十日第十條第一項第五號ノ次ニ左ノ二號ヲ加ヘ第六號ヲ第八號ニ改ム

六 令第十一條第三項ノ規定ニ依リ新ニ雇入及就職ト看做サルル場合ニ於ケル同種ノ工場、事業場其ノ他ノ使用ノ場所間ニ於テ爲ス一般青壯年ノ所屬ノ移動及令第七條第二號ニ定ムル者以外ノ者ヨリ令第七條第二號ニ定ムル者ニ一般青壯年ノ所屬ノ移動ヲ行フ場合但シ後ノ使用ノ場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

七 徵用セラレタル一般青壯年其ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ雇入及就職ノ場合

第十一條 第一項中「國民學校修了者及」ヲ削ル

第十五條 厚生大臣ノ別ニ指定スル者ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ毎月ノ從業者ノ充足及異動狀況ヲ様式第十一號ニ依リ翌月十日迄ニ直接

厚生大臣ニ報告スベシ

前項ノ指定ハ指定スベキ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ事業主ニ對スル通知ニ依リ之ヲ行フコトヲ得

第十六條ノ二 事業主第五條第一項第七號、第六條

第二項第六號又ハ第十條第一項第六號ノ規定ニ

依リ技能者、國民學校修了者又ハ一般青壯年ヲ使

様式第六號ノ「利用狀況」ノ欄ノ下ニ左ノ「從業者異動狀況」欄ヲ加フ

用スルニ至リタルトキハ様式第十一號ノ二ニ依リ

五日以内ニ其ノ者ヲ使用スル場所ノ所在地ノ所轄

國民職業指導所長ニ届出ツベシ

第十八條 令第十七條第二項ノ通報ハ管轄區域内ニ

在ル國又ハ道府縣ノ施設ニ於ケル從業者ノ雇入、

使用又ハ解雇ニ付様式第十號ニ依ルモノトス

前 期	中 期	後 期	員 人 (用 徵) 入 雇 中 期 前										從 業 者 異 動 狀 況					
			計	徵 用 ニ 依 ル モ ノ	其 ノ 他 ノ 雇 入 ニ 依 ル モ ノ	一 般 青 壯 年			國 民 職 業 指 導 所 ノ 紹 介 ニ 依 ル モ ノ	國 民 職 業 指 導 所 ノ 紹 介 ニ 依 ル モ ノ	國 民 職 業 指 導 所 ノ 紹 介 ニ 依 ル モ ノ	技 能 者	認 可 ニ 依 ル モ ノ	認 可 ニ 依 ル モ ノ	認 可 ニ 依 ル モ ノ	男	女	計
						特 定 認 可 ニ 依 ル モ ノ	緣 故 認 可 ニ 依 ル モ ノ	其 ノ 他 ノ 認 可 ニ 依 ル モ ノ										
前 期 末 現 在 人 員	前 期 中 解 雇 人 員	前 期 末 現 在 人 員																

様式第十號ノ記載心得「二」ノ末尾ノ「年月日」ヲ記載スルコトノ下ニ「尙令第十一條第三項ノ從業者ノ所屬移動(轉勤)ニ依ルモノノ中認可ニ依ラザルモノニ付テハ所屬移動(轉勤)アリタル年月日及其ノ旨ヲ記載スルコト」ヲ加フ